

2012年8月11日 (8月13日掲載)

福島からの子供達と一緒に

東北関東の大震災からほぼ一年半,でも現地ではまだ未だ立ち入りも出来ない地域があるようで、お気の毒です。その福島から震災の時、一番に駆けつけてくれたのがロスアンジェルス消防署の方々だったそうで、今週行われている小東京の夏祭り二世週祭にかけて(福島から有り難うコンサート)が教会で行われました。



小東京の3rd. stにある教会内部です。

とても落ち着いた大きな教会で此処で行われる予定ですが、切符を売り出さず、入場無料、寄付のみ と言うので 何人のお客様が来てくださるか? 心配でした。 それにこの日はロスアンジェルスが最高に暑くなって海辺から ダウンタウンにゆきましたら汗が吹き出しました。



子供達のプログラムの最後に、地元のコーラスグループ5団体と私のような個人参加の人30名を含めて130名が新しい（春、福島から）というこれから頑張って生きてゆこうという素晴らしい歌詞と難しい曲と一緒に歌おうという趣向ですが、この日初めて合同のリハーサルは開演の2時間ほど前です。まだ着替えていない人は会場作りや裏方のお仕事をお手伝いされていた方々、冷房は効いていますが、さすが動くと暑いです。日本から来られた方々にお気の毒です。



この日子供さんグループは日系博物館前で歌われ、日米会館前の炎天下で歌われ昨日到着されたばかりなのに、かなりの強行軍だったようです。でもL A市長も訪問し、市庁舎でも歌われて市の職員から大拍手を貰われたそうです。



1 1時半過ぎ やっと可愛いスター達のご到着です。
浴衣を着て、けなげというか、痛々しい感じがしました。

勿論 保護者の方々も同伴されているし、教育委員会の方、先生方など 一緒でした。
震災後 大変な時期に一家で参加されて、子供のステージを応援されている方も 居られるそうです。



流石 浴衣も キッチリ着ています。

色とりどりで 帯も それに軽い下駄も履いて大変だったでしょうね。 有り難うと言いたいのはこちらのほうでした。 中に気分の悪くなったお子様がありました。 やはり此の暑さで演奏旅行は大変なのでしょうね。間もなく元気になられたそうでほっとしましたが。。。



早速 大人と子供一緒のリハーサルです。

指揮は日本の福島から来られた 先生がなさいました。

歌の解釈の違いがありそれを 指揮者にあわせるのが目的です。

テンポもかなりゆっくりで最後の盛り上がりも確認しました、 それにしても このお草履履いた
子供達 可愛いですね。



指導者の先生の言われる事をまるでスポンジの様に吸収して、上手く歌ってくると先生が話されていたそうで、 躡けもきちんと出来ていて、日本の子供達は流石！！ と思いました。

溢れるようなエネルギーが羨ましいですね。



一年前まで一緒に歌っていたコスモスのお仲間が殆ど参加されており、旧交を深めました。

自宅裏の葡萄をお持ちくださった方や 裏庭の

茗荷を、ランチと一緒に持ってきてくださった方、ハワイからのお土産も頂きました。



何より ランチと一緒にさせて頂いたり、途中で顔を合わせると（元気でしたか？ 又一緒に歌えて嬉しいわ）と声を掛けてくださる 昔のお仲間の皆さん。嬉しい絆に感謝の連続です。

後ろの男性達はグリーンの方々でしたかしら？



此の お三人もコスモスのお仲間です。

近況を伺ったり、健康を喜んだり、 歌を歌う
以外の時間も 忙しく
お仲間とお喋りです。

此処は聖堂の隣のお部屋です。 お客様が入りきれないときの為に 我々は此処で聞きましたが、それでもお客様が聖堂からはみ出してこられて、何度も 席を後ろに移動しました。



元のお仲間です。

どなたも全くお変わりなく 美しくなっておられます。

歌を歌うのは 年取らない秘訣かも知れませんね。



一部は 懐かしい日本の歌ばかりでした。

そして休憩の後はお色直しで制服に着替えて アベマリアを初めとする、西洋の音楽そして津波被害者への鎮魂歌は 涙が出るほどでした。

洗練された子供の声ではない、素晴らしい天使の歌声 というにふさわしい コンサートは 教会も満席 補助席も随分追加しました。



今回は小学校3年生以上の子供達のみ参加されたそうですが、其れより小さい団員も居られるそうです。

震災に負けないで 福島で、すくすくと伸びて行って欲しいと 思わずには居られない素晴らしいコンサートでした。

此のコンサートの成功の陰には 南加合唱連盟の役員の方々の表に出ない数々の努力や各団体との交渉に費やされた 長い時間のボランティアのお仕事が隠れています。 殆どこの5日間を 本来のお仕事をほったらかして、此のグループの為に無料奉仕をして下さっている方も居られるそうです。 沢山の善意に依って 成功に終わった このコンサートの件で 福島の子供達は希望と勇気を持って これからの人生を 歩いてゆけるのではないかと感じました。

最後の歌詞に（ 作ろう この手で 再びのふるさとを、 まほろばの福島を
叫ぼう 世界へ 福島から世界へ 作ろう 皆共に 美しい世界を 美しい世界を）
というフレーズがあるのですが、途中で 自分ひとりで感激して 歌えなくなりました。

日本は戦後 貧しかったのに 此処まで経済大国になりました。

でも いつも二世の方が苦労話をされる時に 私は（日本全体が貧しかったのです）とよく 話します。でも今回の震災は 東北だけです。豊かになった現代の日本の中で 此の地区だけが 家族も家も仕事も同時になくしてしまった方々が居られるのです。どんなにか辛く、哀しく、大変な時間を過ごしておられるかと思うと、涙なしでは歌えませんでした。きっと私だけでは無かったと思います。

此の後 お茶の会があり夕方からは チャイナタウンのレストランで 打ち上げの宴会が 予定されていました。

出席して 其々の子供たちとも お話させて頂き、友達になりたかったのですが、私は この日 後の予定が入っており、どうしても パスできなかったので 殿に会場まで迎えに来てもらい 早々に引き上げて帰りました。

この日 涼しいはずの South Bayも 85度Fに上がり、我が家の部屋の中が暑くて 今年初めて冷房を着けました。水シャワーを浴びて 次のパーティーの準備です。一日に 2つの予定は入れない方針ですが、時に抜けられない集まりが 2つ重なります。まだ 元気で生きている証拠でしょうか？

オリンピックも 各競技が決勝戦を迎え、目が離せなくなりましたし、バスケットボールや マラソンが控えています。